

# エンジンチェーンソー

## ECS-38D

### 取扱説明書

このたびは、弊社「エンジンチェーンソー ECS-38D」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。



### もくじ

---

安全上のご注意	1~4	使用前の準備	7
仕様	5	使用方法	8~11
付属品	5	保守と点検	11~17
各部名称	6		




# 【安全上のご注意】




- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。










## ●表示と意味

 **警告**  
 使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。


















 **注意**  
 使用を間違った場合に人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

※  注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。  
 ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。




図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

 <b>警告</b>	
・機械の調子が悪かったり異常に気がついたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。	
・ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。給油の際は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認して給油してください。	
・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。	
・給油の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。	
・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。	
・商品の運送途中の衝撃により、商品が破損したり、取り付け部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して、正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。	
・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。	
・運転操作のわからない人、指導を受けていない人には絶対操作させないでください。特にお子様は危険です。	













 警告

・疲れているとき・体調の悪いとき・酔っているとき・薬を服用しているとき等、正常な運転操作ができないときは絶対に使用しないでください。事故の原因となります。	
・本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また改造は絶対にしないでください。	
・エンジンを始動させる際はソーチェーンが切断材料や他のものに当たっていないことを確認してください。	
・使用中、揮発性の高い油を絶対に近づけないでください。また、給油した場所ではエンジンを始動させないでください。火災・爆発の危険性があります。	
・始動時および使用中はプラグキャップに触れないでください。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	
・風通しの悪い場所や、排気のこもる場所ではガス中毒の原因となりますので、そのような場所では使用しないでください。	
・作業は視界の良い日中のみ行ってください。暗い場所での作業は事故の可能性があり大変危険です。	
・本機の周りにおがくず、紙、石油、シンナー、火薬等の燃え易いものは近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。	
・常時、本体の上には物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。	
・運転時、もしくはエンジン停止直後はエンジンやマフラーに触れないでください。やけどの原因となります。	
・刃の先端部では切断作業をしないでください。枝や壁、地面等にも触れさせないようにしてください。	
・使用中チェーンソーの延長線上に体を置かないでください。必ず少し左に体を置いてください。	
・雨天・雨上がり・強風・雷時等には作業を行わないでください。転倒や自然災害に遭う危険性があります。	
・木材の切断以外に使用しないでください。	
・使用時は両手で本体をしっかりと持ってください。片手では絶対に作業をしないでください。事故やケガの原因となります。	
・使用中は可動部に顔や手等の体の一部を近づけないでください。事故やケガの原因になります。	

 警告

・誤って落としたりぶついたりした場合にはすぐに使用を中止し、エンジンを停止させ、破損・亀裂・変形がないことをよく確認してください。	
・はしごや樹木に登っての作業・不安定な姿勢での作業は行わないでください。事故やケガの原因となります。	
・樹木を伐り倒す作業や樹木を切断する作業を行う場合は、法や規則で定める特別教育を受けた者に行わせてください。 (関連法令) 労働安全衛生法第59条第3項 安全衛生特別教育規定第10条の2 労働安全衛生規則第36条第8号の2	

 注意

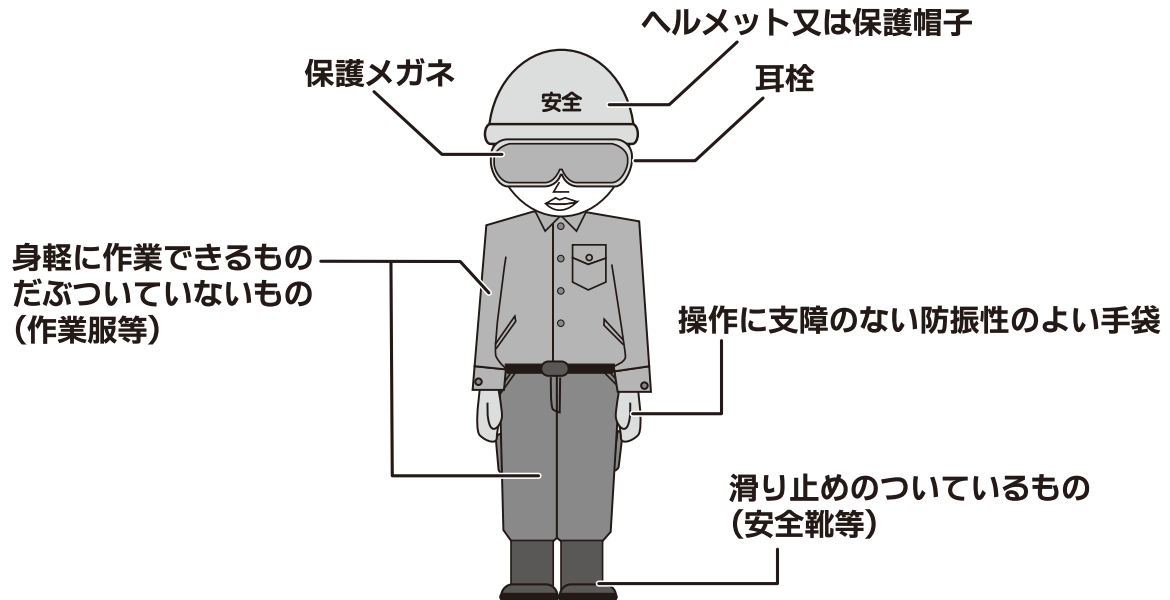
・燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。	
・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となります。	
・リコイルスターターの周りに付いたゴミは取り除くようにしてください。	
・部品は必ず取扱説明書に記載されているものをご使用ください。	
・エンジンの始動は、安定した場所で行ってください。	
・使用を中断する時や移動するときは必ずエンジンを停止してください。また、エンジンをかけたまま放置しないでください。事故の原因となります。	
・行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするよう指導しています。作業時間をうまく計画してご使用ください。	
・切断材料に石・釘等の異物がないことを確認してください。	
・切断材料はしっかりと固定してください。また、切り落とし材に注意して作業を行ってください。	
・切り落とし寸前や切断中に切断材料の重さでガイドバーが挟み込まれないように、切断部位に近い位置を台等で支えて作業を行ってください。	
・2台以上で作業をするときは、安全な距離をとって作業を行ってください。	
・使用しない時は必ずソーチェーンカバーを装着し、ソーチェーンが剥き出しにならないようにしてお子様の手の届かない場所に保管してください。	

○騒音防止規制

- ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。

**安全上の注意事項を守って、正しくお使いください。**



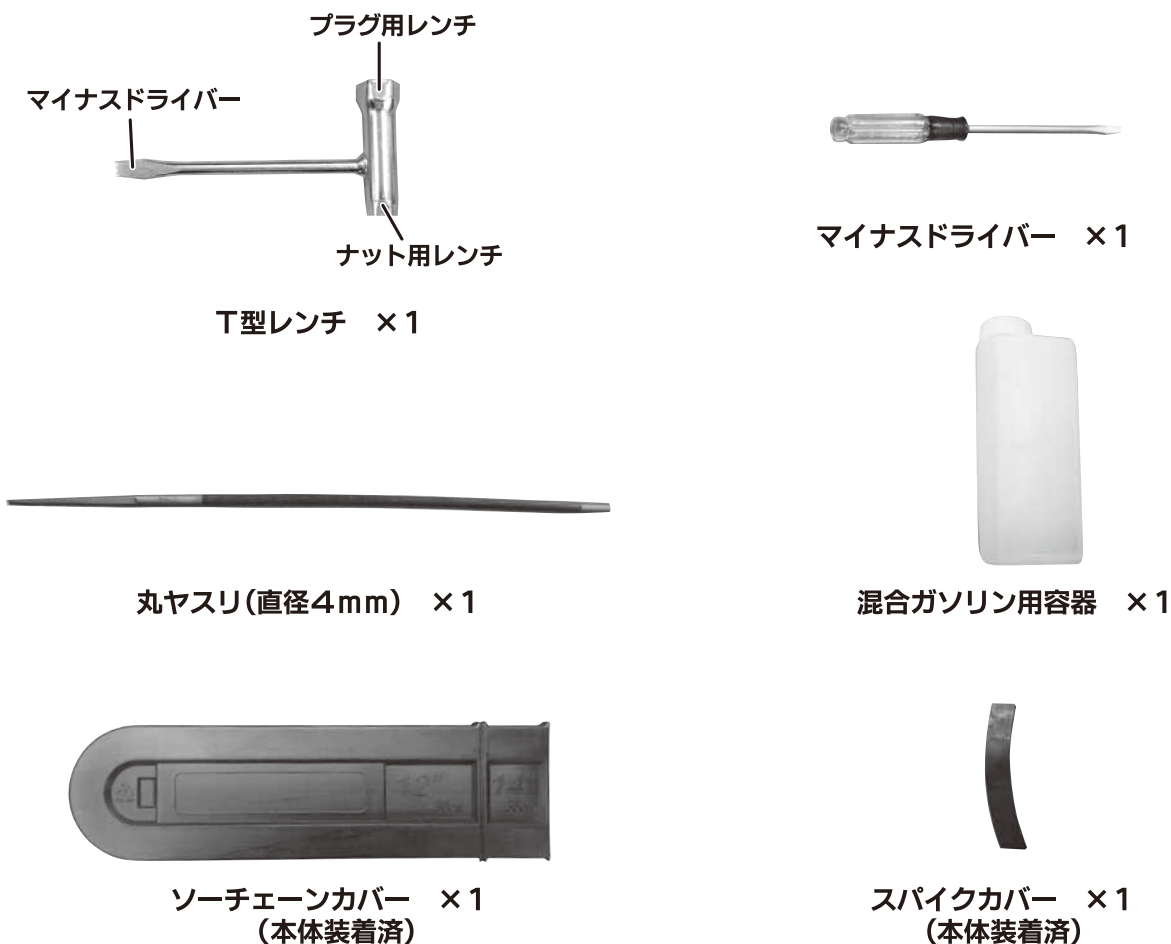
**上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。**

## 【仕様】

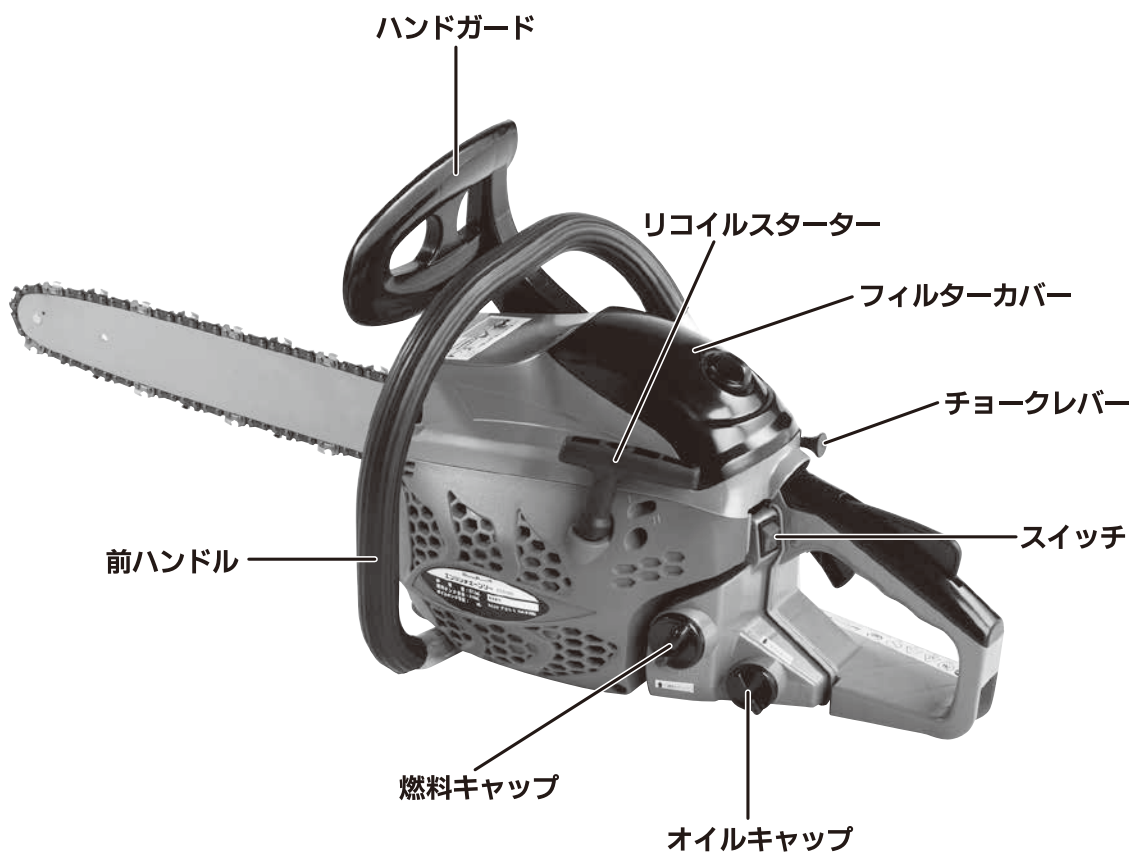
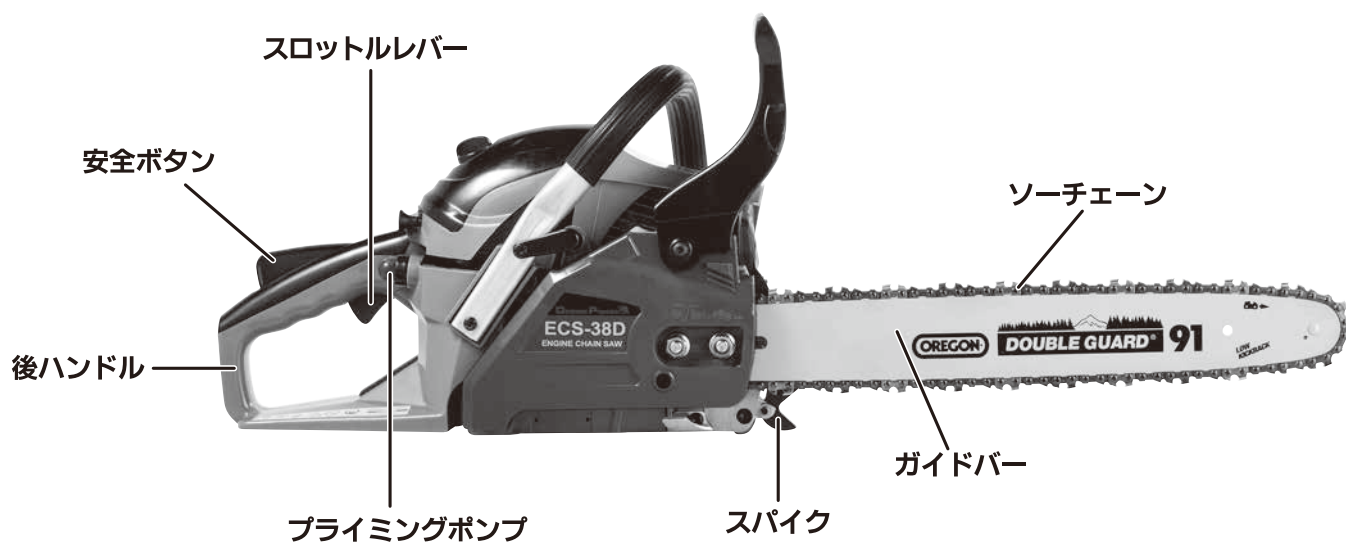
エンジン形式	空冷2サイクルガソリンエンジン
使用燃料	潤滑油混合ガソリン 無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル 40：1
排気量	37.2mL
燃料タンク容量	260mL
オイルタンク容量	210mL
始動方式	リコイルスターター
点火プラグ	NGK BPMR7A
給油方式	自動
ガイドバー	OREGON製 160SDEA041
ソーチェーン	OREGON製 91PX-57E (ピッチ：3/8インチ ゲージ：0.050インチ)
騒音値	92dB
本体寸法	W380mm×D240mm×H275mm
質量	約5kg

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。  
 ※本体寸法・質量は、ガイドバー・ソーチェーンを除いた値になります。

## 【付属品】 ※大きさは実寸比と異なります。



# 【各部名称】





## 【使用前の準備】

### ●チェーンオイルの注油

- ・本機にはチェーンオイルは入っておりません。  
市販のチェーンオイルまたは自動車用エンジンオイル（下表参照）をご用意ください。

使用オイル
チェーンオイル 自動車用エンジンオイルAPI規格SEクラス以上、またはSAE粘度分類10W-30ランク

- ①本体側面下側のオイルキャップを上にして本体を置きます。
- ②オイルキャップを反時計方向に廻して外し、市販のチェーンオイルもしくは自動車用エンジンオイルを注油します。
- ③注油後オイルキャップを付け、時計方向に廻してしっかりと締めてください。



オイルキャップ

### ●燃料の給油

#### ⚠ 警告

- ・ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。給油の際は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認して給油してください。
- ・燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・給油の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。
- ・燃料キャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

- ・本機に使用する燃料は、無鉛ガソリンと2サイクルエンジン専用オイルを40：1の割合で混ぜた混合ガソリンです。

※ガソリン・オイルの種類や混合比が異なると、エンジン不調の原因となりますのでご注意ください。

#### ◇無鉛ガソリンと2サイクルエンジン専用オイルとの混合比

無鉛ガソリン (L)	2サイクルエンジン専用オイル (ml)
0.5	12.5
1	25
2	50

- ①本体側面上側の燃料キャップを上にして本体を置きます。
- ②燃料キャップを反時計方向に廻して外し、混合ガソリンを給油します。
- ③給油後は燃料キャップを付け、時計方向に回してしっかりと締め付け、燃料漏れがないことを確認してください。



燃料キャップ

# 【使用方法】

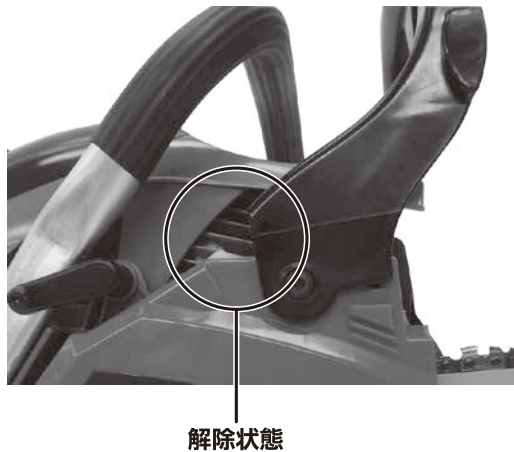
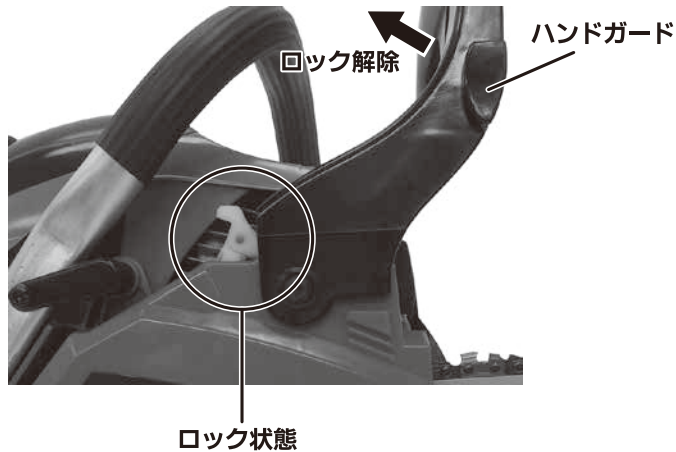
## ●チェーンブレーキ

・チェーンブレーキは使用中に跳ね返り（キックバック）などが発生した時に、緊急にソーチェーンの動きを停止、危険を少なくするための装置です。

チェーンブレーキは緊急時の停止装置ですが、万全ではございませんので、常にキックバックが発生しないように注意しながら作業を行ってください。

※チェーンブレーキは、ハンドガードを手前に引くと解除ができます。

※チェーンブレーキは、ハンドガードをソーチェーン方向に倒すことでロックができます。



## ●エンジンの始動

### エンジンが冷えている場合の始動

①チェーンブレーキをロック状態にしてください。

②スイッチをONにします。

※スイッチの押し忘れがないようにしてください。

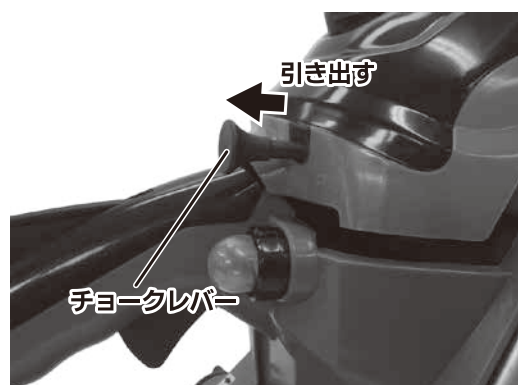
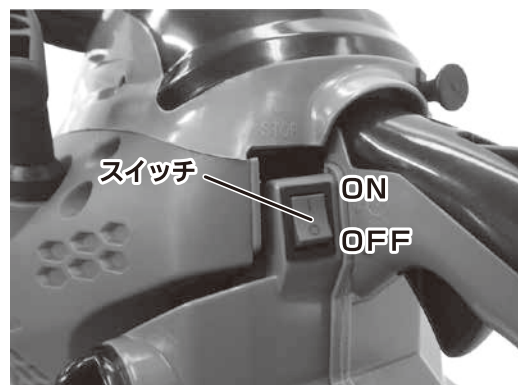
OFFのままリコイルスターターを繰り返し引き、後からONにした場合、燃料を吸い込み過ぎてエンジンが掛かりにくくなる原因になります。

③燃料が入ってくるまでプライミングポンプを押します。

※約10回程押せば燃料が上がってきます。

④チョークレバーを手前に引き出してください。

チョークが閉じてスロットルレバーが始動位置になります。



⑤安定した場所に置き、周囲に障害物のないことを確認してから、本体が動かないようしっかりとおさえ、リコイルスターターをゆっくりと引きます。

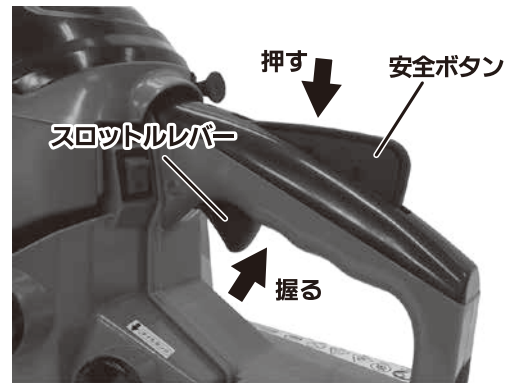
⑥リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、それを最初の爆発音がするまで繰り返し行います。爆発音の後にエンジンが停止した場合は手順⑦へ、始動した場合は手順⑧へ進んでください。

⑦爆発音がしたらチョークを押し戻し、再びリコイルスターターを引いてエンジンを始動させてください。

⑧エンジンが始動したら、直ちに安全ボタンを押しながらスロットルレバーを握り、スロットルをアイドル位置に戻してからチェーンブレーキを解除してください。

※チェーンブレーキがロック状態のまま運転すると発熱して破損することがあります。チェーンブレーキがロック状態で運転してもソーチェーンは動きません。

⑨2～3分間スロットルレバーを握ったり戻したりを繰り返して暖機運転を行います。

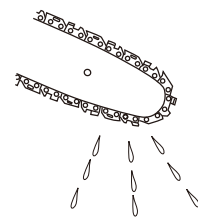


### ⚠ 警告

- ・ チョークレバーを引いた状態でエンジンが始動した場合、回転が高いままになります。エンジン始動後は必ずスロットルレバーを握ってチョークレバーを戻してください。先にチェーンブレーキを解除すると、急にソーチェーンが回転して危険です。

⑩暖機運転終了後、チェーンオイルが吐出していることを確認してください。

※スロットルレバーを握って数秒間高速回転をさせ、チェーンオイルが飛散していれば正常です。



乾いた木材またはコンクリート

### エンジンが暖まっている場合の始動

①チェーンブレーキをロック状態にしてください。

②スイッチをONにして、そのままリコイルスターターを引いて始動させてください。

※スイッチの押し忘れがないようにしてください。OFFのままリコイルスターターを繰り返し引き、後からONにした場合、燃料を吸い込み過ぎてエンジンが掛かりにくくなる原因になります。

③リコイルスターターを引いてもエンジンが始動しないときは、チョークレバーを手前に引いてリコイルスターターを1回引いてください

④チョークレバーを押し戻し、再びリコイルスターターを数回引いて始動させてください。

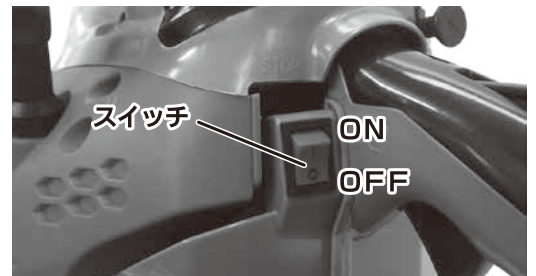
⑤エンジンが始動したら、直ちに安全ボタンを押しながらスロットルレバーを握り、スロットルをアイドル位置に戻してからチェーンブレーキを解除してください。

### ⚠ 注意

- ・ チョークレバーを引いた状態のまま、いつまでもリコイルスターターを繰り返し引き続けると、燃料を吸い込みすぎて始動しにくくなります。
- ・ 燃料を吸い込みすぎたときは、点火プラグを外し、ソーチェーンを上にして本体を立て、リコイルスターターをゆっくりと数回引いて余分な燃料を排出してください。また、点火プラグの電極部を完全に乾かしてください。
- ・ リコイルスターターは最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。また、リコイルスターターは急に手を離さず、静かに戻すように心がけてください。
- ・ 空ぶかしはエンジンの寿命を縮めますのでむやみに行わないでください。

## ●エンジンの停止

- ①スロットルレバーを戻し、低速でしばらく運転します。
- ②スイッチをOFFにします。



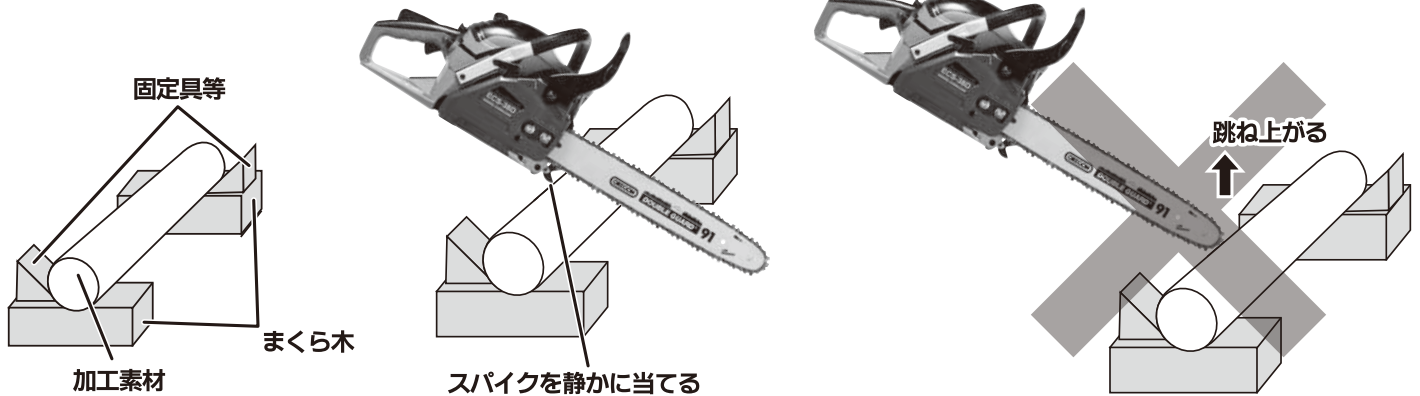
## ●キックバックについて

キックバックとは、ソーチェーンが高速回転中にガイドバーの先端部分が何かに触れたときに、反作用で機体が逆方向にはね返される現象のことをいいます。操作を誤るとキックバックにより重大な傷害事故を引き起こす危険性がありますので、ご注意ください。



## ●丸太の切断

- ①丸太等の下にまくら木を敷き、丸太等を固定具等で固定します。
  - ②スロットルレバーを握りソーチェーンの回転が一定になったら、ガイドバーの付け根付近を丸太等に静かに当てて切断してください。
- ※ガイドバーの先端を当てるとチェーンソーが跳ね上がってくる（キックバック）があり大変危険です。

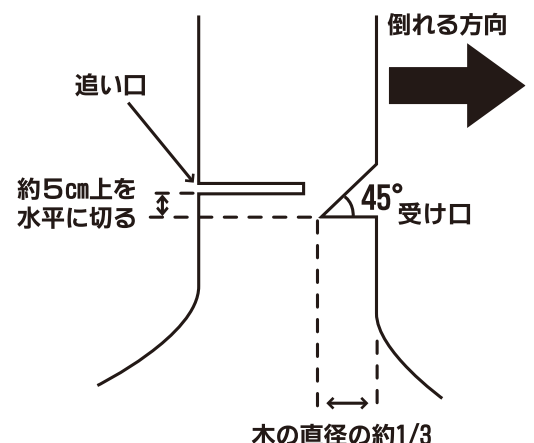


## ●伐採

### ⚠ 警告

- ・ 樹木を伐り倒す作業や樹木を切断する作業を行う場合は、法や規則で定める特別教育を受けた者に行わせてください。（関連法令）
- ・ 労働安全衛生法第59条第3項
- ・ 安全衛生特別教育規定第10条の2
- ・ 労働安全衛生規則第36条第8号の2
- ・ 幹の湾曲具合・枝の張り出し具合・風向き等の環境条件を十分考慮に入れて伐採してください。
- ・ 木は常に受け口側に倒れるとは限りません。切断中、木の動きには十分注意してください。

- ①伐採する木の周りの障害物を取り除き、しっかりとした足場と倒木時の退避場所を確保します。
- ②倒したい側の幹にくさび状の切り込み（受け口）を入れます。
- ③受け口の反対側から直角に切り込み（追い口）を入れます。  
※追い口の切り込み中にソーチェーンが木に挟まれた場合は無理をせずにくさび等を用いて切り口を広げてから取り外してください。
- ④木が倒れ始めたらエンジンを止め、安全な場所に避難してください。



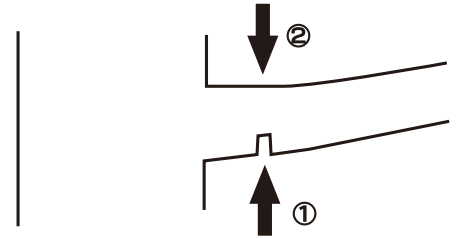


## ●枝払い

### ⚠ 注意

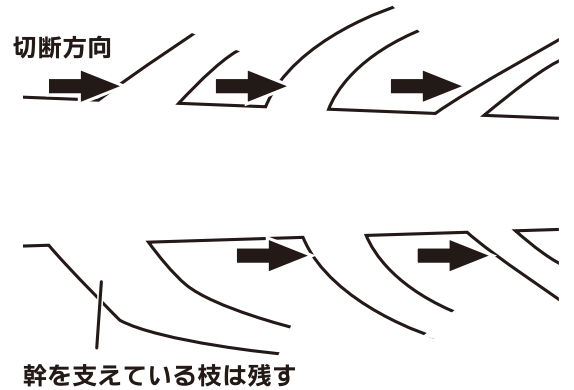
・伐採後の丸太の枝払いは、安全のため丸太をロープ等で固定してから行ってください。

・太い枝の場合は、割れや裂けをふせぐため、下側から1/3程度の切込みを入れて、その後上側から切り落としてください。



・倒した木の枝払いは、上側側面の枝を一方向より切り落としてから下側の幹を支えている枝を残して下側の枝を切り落としてください。

※下側の枝は設置条件によっては切断中に反発することがありますので、十分注意してください。



## 【保守と点検】

### ⚠ 警告

・点検・整備は必ずエンジンを止めてエンジンが完全に冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから行ってください。  
・ソーチェーンは鋭いので、ケガをしないよう手袋等を装着し、十分注意して扱ってください。

## ●ガイドバー・ソーチェーンの取り付け

### ⚠ 注意

・ソーチェーンの張りは常に正常な状態を保ってください。特に未使用のソーチェーンは使用開始直後の伸びが大きいので、頻りに再調整を行ってください。

①チェーンブレーキが解除されていることを確認してください。  
※チェーンブレーキをかけたままですとチェーンカバーが外しにくくなります。

②付属品のT型レンチを使用してハンドガード下のナットを外し、チェーンカバーを外します。

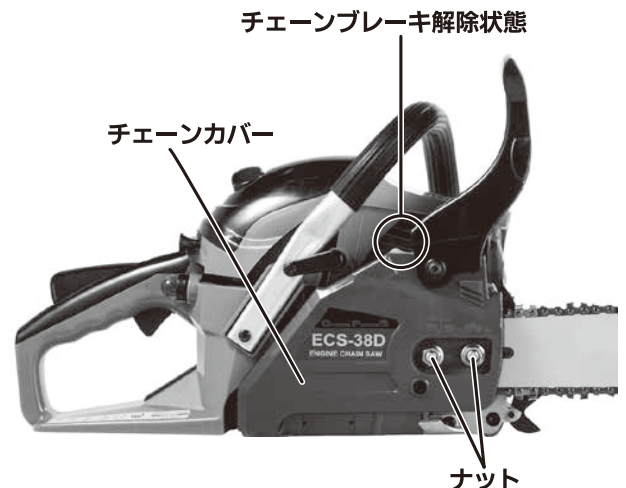
③ガイドバーをエンジン側にずらして、ソーチェーンを外します。

④新しいソーチェーンに交換します。

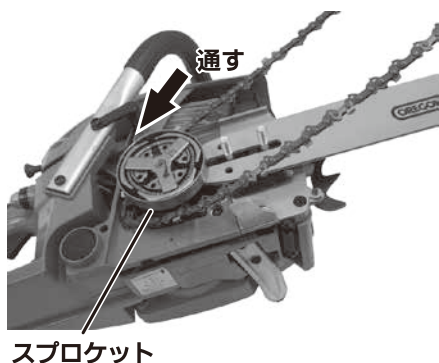
・指定ガイドバー：OREGON製 160SDEA041

・指定ソーチェーン：OREGON製 91PX-57E

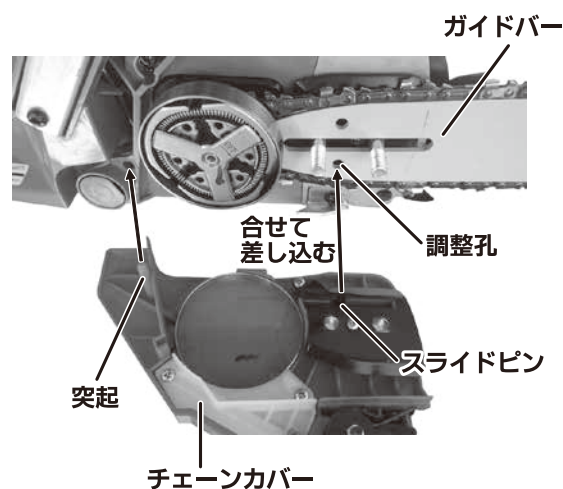
(ピッチ：3/8インチ ゲージ：0.050インチ)



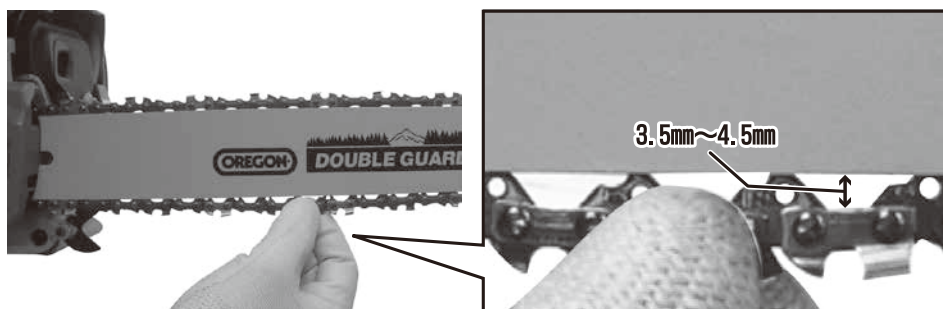
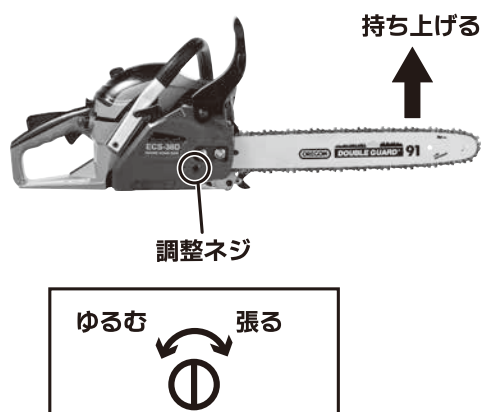
- ⑤ソーチェーンを正しい向きにして、スプロケット側からソーチェーンをかけ、ガイドバーの溝に通してたるみがなくなるまで前方にガイドバーを引きます。  
 ※ソーチェーンの向きにご注意ください。



- ⑥チェーンカバー内側のスライドピンの位置をガイドバーの調整孔に合わせてから、チェーンカバーの突起を差し込み、チェーンカバーを本体に取り付け、スライドピンをガイドバーの調整孔に入れ、ナットを仮締めしてください。  
 ※チェーンカバーにある調整ネジを廻してソーチェーンの張りを調整します。  
 時計方向に廻すと張っていきます。  
 反時計方向に廻すと緩んでいきます。

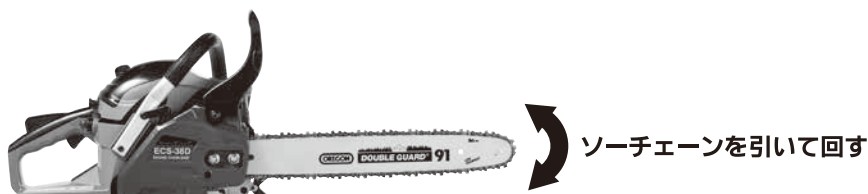
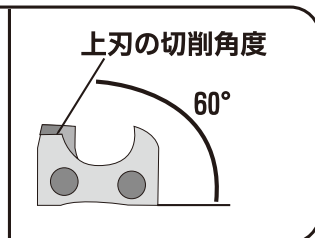
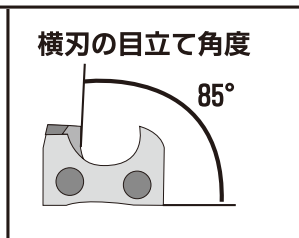
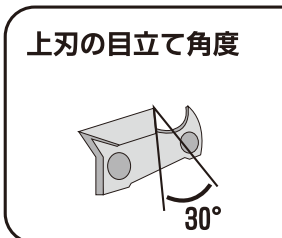
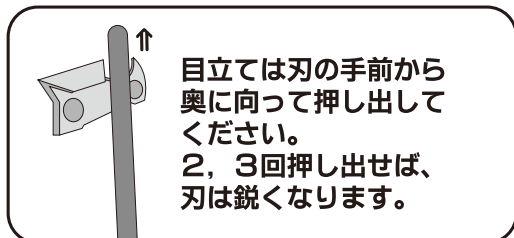
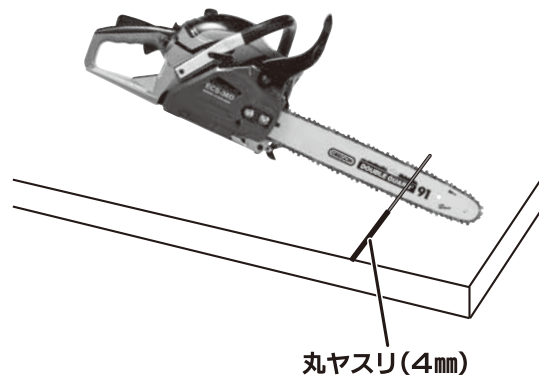


- ⑦ソーチェーンの中央部を指で引っ張り、ガイドバーとソーチェーンのすき間が3.5~4.5mmになるように、ガイドバーの先端部を持ち上げながら、調整ネジで張りを調整します。  
 ⑧調整が終わったらガイドバー先端部を持ち上げながら、ナットをしっかりと確実に締め付けてください。  
 ⑨ソーチェーンが手で軽く動くか確認してください。ガイドバーとソーチェーンの隙間が不十分な場合は、ナットをゆるめて再調整してください。



## ●ソーチェーンの目立て

- ・ソーチェーンの張りが適正な状態で本体を固定し、付属品の4mmの丸ヤスリを使用して目立てを行ってください。
- ※ソーチェーンを手で動かす場合は、刃でケガをしないよう気をつけてください。



## ●チェーンオイル吐出量の調節

- ・本体底部のオイル量調節ネジでチェーンオイルの吐出量を調節できます。

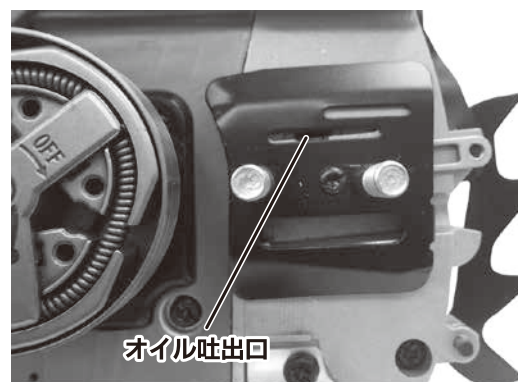
時計方向に廻すとチェーンオイルの吐出量が少なくなります。  
反時計方向に廻すとチェーンオイルの吐出量が多くなります。

オイル量調節ネジ



## ●チェーンオイル吐出口のお手入れ

- ・チェーンオイル吐出口は定期的に清掃してください。



## ●ガイドバーのお手入れ

- ・使用していきまると切り屑がガイドバーの溝に詰まることがあります。切り屑がガイドバーの溝に詰まると、チェーンオイルがソーチェーン全体に行き渡らなくなります。ソーチェーンの目立てや交換を行うときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



## ●エアフィルターのお手入れ

### ⚠ 警告

- ・洗剤油は引火しやすいので、タバコを吸ったり炎等の火気を近づけないでください。火災や爆発の原因となり大変危険です。
- ・エアフィルターの清掃は換気の良い場所で行ってください。

### ⚠ 注意

- ・エアフィルターが目詰まりしますと、エンジンの始動不良や出力不足、燃料消費量の増加等の原因となりますので、定期的に清掃をしてください。

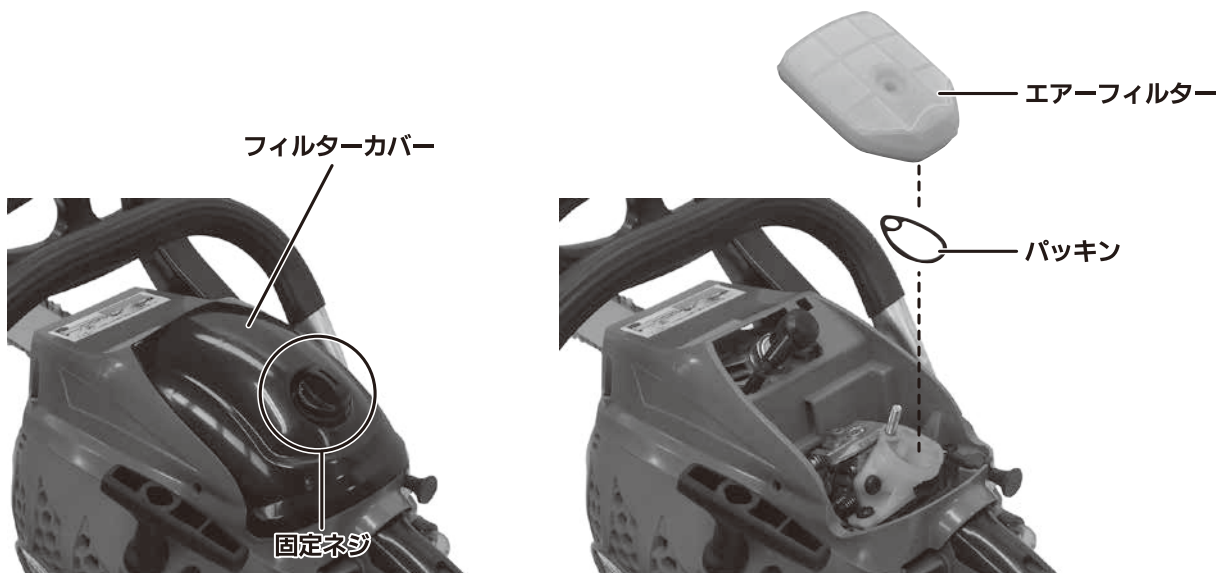
①本体上側の固定ネジをゆるめてフィルターカバーを取り外します。

②エアフィルターを取り外し、付着しているゴミやホコリを払ってください。

※清掃してもフィルターの汚れがひどい場合には、新しい物と交換してください。

※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターは定期的に清掃してください。

※パッキンは無くさないようにしてください。エアフィルターを取り付ける際は、パッキンを必ず取り付けてください。





## ●点火プラグのお手入れ

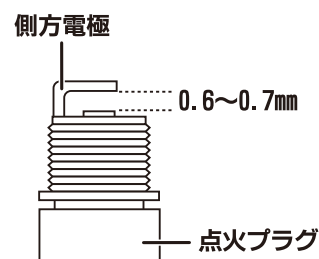
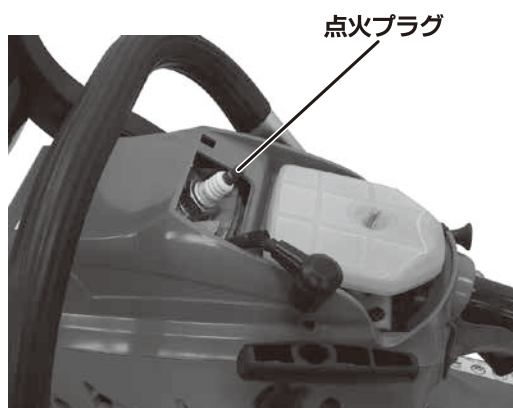
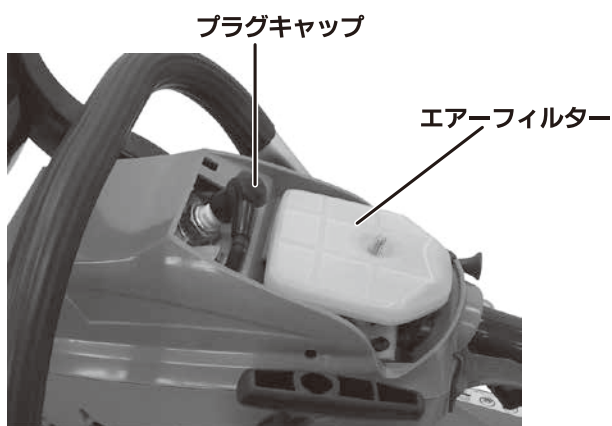
### 警告

- ・電極が汚れたり電極の隙間が不適切だと、正常な火花が飛ばなくなりエンジンの回転数が不均一になる等、エンジン不調の原因となります。
- ・点火プラグの点検・清掃・交換・調整は完全にエンジンが冷えてから行ってください。
- ・点火プラグの取り付けは点火プラグのねじ山を潰す恐れがありますので、はじめは指で軽くねじ込み、それからレンチで確実に締め付けてください。

①本体上側の固定ネジをゆるめ、フィルターカバーを取り外します。

②プラグキャップ・点火プラグを外して、カーボンの汚れがあるかどうか確認してください。  
 ※汚れている場合には、プラグ用クリーナ、ワイヤーブラシ等でカーボンを落としてください。  
 ※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて隙間の調整を行うか、交換してください。

標準プラグ NGK BPMR7A



## ●エンジン（キャブレター）の調整

### 警告

- ・エンジンの調整を誤りますと、エンジンが破損する恐れがあります。エンジンの最高回転数が許容値を超えないよう下記の要領を必ず守ってください。

- ・キャブレターは工場出荷時に燃料が最適に供給されるように調整されていますが、運転条件の変化（エンジンのなじみ具合、空気密度の変化など）で再調整が必要になる場合があります。  
 調整が必要な場合は、下記の要領で行いますが、不慣れな方はできるだけ燃料ニードルの調整は行わず、お買い求めの販売店へご相談ください。

※調整前に点火プラグの電極、エアフィルター、スポンジフィルターの清掃を必ず行ってください。

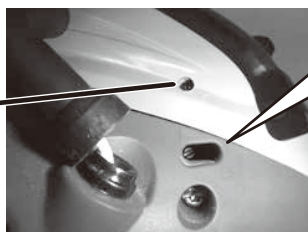
### アイドリングの調整

#### アイドリング調整ネジ（T）

- ・アイドリング時にソーチェーンが回転するときは、ソーチェーンが回らないようにアイドリング調整を行ってください。左回し（反時計方向）で回転数が低くなります。
- ・アイドリング時にエンジンが停止してしまうときは、回転が安定するようにアイドリング調整を行ってください。右回し（時計方向）で回転数が高くなります。

アイドリング回転数 3200±400min<sup>-1</sup>

アイドリング調整ネジ（T）



左側マイナスネジ  
低速ニードル（L）

右側マイナスネジ  
高速ニードル（H）

## 燃料ニードルの調整

※燃料ニードルの調整を誤りますとエンジンの故障（回転異常、燃料過多、過熱による焼きつき）の原因となりますので注意してください。

- ①燃料ニードル基準開度の調整は低速ニードル（L）、高速ニードル（H）を右に（時計方向）止まるまで回して、止まった位置から基準開度分、左に戻してください。

燃料ニードル 基準開度	高速ニードル（H）	1回転と1/2
	低速ニードル（L）	

- ②エンジンをかけ、暖気運転後にスロットルレバーを引いたときのスムーズな加速、吹け上がり状態になるか確認、調整します。

- ③エンジンをかけスロットルを全開にし、加速が悪い場合は低速ニードル（L）を左1/4回転以内で調整を行います。アイドリング状態で本体を傾けたとき、エンジンが停止する場合は低速ニードル（L）を右に回すか、アイドリング調整ネジ（T）を右に回し、アイドリングの回転数を少し上げてください。

- ④高速ニードル（H）を右に回すと混合気が薄くなり最高回転数が上がり、左に回すと混合気が濃くなり下がりますが、最高回転数の許容値を超えると燃費が悪くなり、エンジンの破損、焼きつきの原因にもなりますので左右1/4回転以内で注意し調整を行ってください。

無負荷最高回転数	11000±500min <sup>-1</sup>
----------	----------------------------

## ●その他

- ・定期的にマフラーの点検、各部のナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れ・オイル漏れの確認をしてください。
- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いはしないでください。

## ●長期間使用しない場合

- ・長期間(30日以上)使用しない場合には、下記の作業を行ってください。

- ①本体やガイドバー・ソーチェーンに付着しているゴミや汚れを取り除きます。
- ②燃料タンク内の燃料を抜き、プライミングポンプを数回押し、プライミングポンプの燃料を抜き取ってください。
- ③燃料を抜いたら、抜いた場所から3m以上離れた場所に移動し、エンジンを始動させて自然停止するまで運転させます。  
※燃料を残したままにしておきますと、キャブレターの詰まり・作動不良等の原因となります。  
※燃料を抜く際は、トレー等を置き、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。
- ④オイルタンク内のチェーンオイルを抜きます。  
※チェーンオイルを抜く際は、トレー等を置き、周囲にチェーンオイルがこぼれないようにしてください。  
※廃油は法令に基づいて処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。
- ⑤点火プラグを取り外し、2サイクルエンジン専用オイルを1～2mLエンジン内に注油してリコイルスターターを2～3回引きます。
- ⑥点火プラグを取り付け、リコイルスターターを引き、圧縮位置で止めます。
- ⑦子供の手の届かない、湿気やホコリの少ない場所に保管してください。

## ●トラブルの原因と対策

### ⚠注意

- ・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
- ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない /止まってしまう	燃料が無い・古い	新しい燃料を補給する
	スイッチが「OFF」になっている	スイッチを「ON」にする
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアークリーナーが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換する
	オーバーチョーク（燃料の吸い込み過ぎ）	点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから、点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	燃料が回っていない	プライミングポンプを押す
	キャブレターの詰まり	キャブレターの再調整（P15～16参照）
エンジンの出力不足 および回転が不安定	燃料フィルターの詰まり	お買い求めの販売店に相談する
	エアークリーナーが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換する
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	キャブレターの詰まり	キャブレターの再調整（P15～P16参照）
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチ リード線の不良	お買い求めの販売店に相談する
チェーンオイルが出ない	チェーンオイルが不足している	チェーンオイルを補給する
	チェーンオイルフィルターの詰まり	お買い求めの販売店に相談する
ソーチェーンが回転 しない	チェーンブレーキが作動している	チェーンブレーキを解除する
	ソーチェーンが外れている	ソーチェーンを確実に取り付ける
	ソーチェーンが切れている	新しいソーチェーンに交換する
	ソーチェーンの傷・変形	傷、変形の除去・新しいソーチェーンに変える

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

# 株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

**お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101**

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。